

平成26年度 施策評価シート

作成日 平成 26 年 11 月 17 日

1 施策の概要

施策名 (節の名称)	No. 27 高齢者保健福祉の充実				
部章節No.	第3部 第3章 第2節	評価担当部	民生部	関連部局	-
総合計画書掲載頁	117 頁	記載責任者	平本明敏		
総合計画 体 系	まちづくりの目標【部】	健康でゆとりとふれあいのまちづくり			
	施策の分類【章】	ゆとりと生きがいのある高齢者施策の推進			
施策の目的 (基本方針)	寝たきりの高齢者やひとり暮らし高齢者などに対応した在宅福祉サービス等の充実をはかりま す。また、高齢者が健康的な生活を送れるよう、介護予防の充実と生活の自立支援につとめま す。				

2 施策を取り巻く環境

施策の現状	現在、平成27年4月1日からスタートする、第6期愛川町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定中。高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるような在宅福祉サービス等の充実及び介護保険の対象とならない高齢者についても、引き続き保険事業との調整を図りながら、各種支援の充実に努める。 また、家庭で介護を担う家族（介護者）は、心身ともに大きな負担を抱えており、その負担を軽減する方策が求められる。町では包括支援センターを強化し、在宅介護支援センターと連携を図りながら、サービスの提供を実施しているが、引き続きサービス内容や事業者に関する情報提供、相談体制などの充実に努める。さらに、地域の福祉活動に携わるボランティアグループが増えつつあり、これらグループの活動を
法令・制度 の変更	第6期愛川町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定中。（H27. 4. 1から運用開始）
施策の課題	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯・認知症の方が増加しており、各種在宅福祉サービスのニーズ拡大に対応する必要がある。民生委員などの福祉関係団体との連携をより強化し、専門職だけではなく、地域での相互扶助を通じた自立支援の仕組みを推進していく必要がある。 高齢化に伴い介護ニーズは増加しており、人員、特に専門職の確保・拡充が必要となっている。高齢者やその家族が健康・予防などの問題の全てを一つの窓口にし、必要なサービスが得られるような総合相談体制の充実と権利擁護制度の利用支援など専門的な相談体制の充実が必要。

3 施策の成果指標（基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。）

住民満足度	指標（単位）	総合計画 策定時	中間値 (26年度)	目標値 28年度	達成度
	『高齢者保健福祉の充実』について「満足」と感じる住民の割合	30.4 %	32.5 %	40.0 %	B

主 な 目標指標	指標（単位）	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
								—
								—
								—

4 施策の活動指標（「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。）

主 な 活動指標	指標（単位）	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	介護予防事業の参加者数	増	1,873	2,177	1,938	2,120	2,170	A
	居宅介護福祉用具購入件数	増	112	81	73	82	90	A
	紙おむつ購入費助成人数	増	320	366	378	402	440	A

5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	在宅福祉サービス等の充実	A			
2	介護予防の推進	A			
3	相談体制の整備	A			

6 総合評価

成果指標評価	B	活動指標評価	A	進捗状況調査結果	A
--------	---	--------	---	----------	---

総合評価	A (自動判定)	良好と認められる施策です。
	総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点から踏まえて分析してください。）	
	・第5期愛川町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に沿って事業展開をしているため、住民のニーズや社会状況に合った事業展開がされていることから、A評価となっていると思われる。 ・引き続き高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けるために、また自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、介護・医療・予防・住まい・生活支援が相互に関係し、連携しながら一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進する。 （平成27年度からは、第6期愛川町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に沿った、事業展開を図っていく。）	

7 今後の方向性

方向性	☐ 現状維持 ☒ 一部見直し ☐ 大幅な見直し ☐ 新たな取り組みや事業を追加 ☐ その他
改善案などの内容	・高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けるために、また自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、介護・医療・予防・住まい・生活支援が相互に関係し、連携しながら一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進する。 ・また、平成27年度から、第6期愛川町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に沿った、事業展開を図っていく必要がある。

8 庁内行政評価委員会コメント

※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	所管部の方向性のとおり
--------	-------------

9 総合計画の進捗状況調査における取組の方向性の評価（事務事業の評価）

[illegible]